

ARIBから
のお知らせ

特別講演会の開催のお知らせ

来る3月にITU-R局長のValery Timofeev氏が来日することになり、同氏をお招きして、下記の要領にて特別講演会を開催することにいたしました。
会員の皆様には、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1 日時： 平成17年3月7日（月） 午後4時00分から5時30分まで
- 2 会場： メルパルク東京 6階 ルミエールの間
<<http://www.mielparque.or.jp/tky/tky01.html>>
- 3 主催： 社団法人電波産業会及び財団法人日本ITU協会（共催）
- 4 題名： 「ITU無線通信部門における最近の課題」（仮題）
- 5 講師： Mr. Valery Timofeev BR(無線通信局)局長
(逐次通訳付き)。
- 6 定員： 150名（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 7 参加費： 無料
- 8 申込先： 事前のお申し込みが必要です。メールアドレス：<tec@ituaj.jp>へ以下の項目をご記入の上送信してください。
(項目毎に改行をお願いします)
 1. お名前（漢字）
 2. お名前（ひらがな）
 3. 会社名
 4. メールアドレス
 5. ITUクラブ例会の出欠（9項のその他を参照下さい）
- 9 その他： 講演会終了後、18：00から同館3F牡丹にてTimofeev氏を囲んで、ITUクラブ例会を行います（会費3,000円）。本会も事前申し込み

制になります。是非ご参加ください。

ITU-AJ およびITUクラブの詳細については、以下のURLを参照下さい。

<http://www.ituaj.jp/index.html>

10 連絡先： 社団法人電波産業会企画国際部 担当：佐々木
電話：03-5510-8592

第105回技術委員会（放送分野）が開催される

1 日時：平成17年1月26日（水）午後2時00分～3時35分

2 場所：社団法人電波産業会 第4会議室

3 議事概要：

- (1) 事務局から、放送国際標準化ワーキンググループの活動について報告があった。
- (2) 事務局から、アナログ周波数変更対策業務について、業務の進捗状況の報告があった。
- (3) その他
事務局から、当会の平成16年度事業スケジュールの報告があった。
- (4) 次回の技術委員会（放送分野）は、平成17年3月23日（水）午後2時から開催することになった。

電気通信／放送
行政の動き

トラヒックからみた我が国の通信利用状況（平成15年度）

総務省では、電気通信事業報告規則（昭和63年郵政省令第46号）に基づき、旧第一種電気通信事業者（平成16年4月1日改正前の電気通信事業法に基づき、第一種電気通信事業者の許可を受けた事業者）から電気通信サービスに係るトラヒックデータの報告を求めており、去る12月22日に、平成15年度分のトラヒックデータを取りまとめ、発表しました。

概要は、次のとおりです。

この資料は、電気通信事業報告規則に基づき、旧第一種電気通信事業者より提出された平成15年度（平成15年4月1日～平成16年3月31日）の加入電話、ISDN、携帯電話、PHS、国際通信の利用状況報告について、集計・分析を行いとりまとめられています。

1 平成15年度のポイント

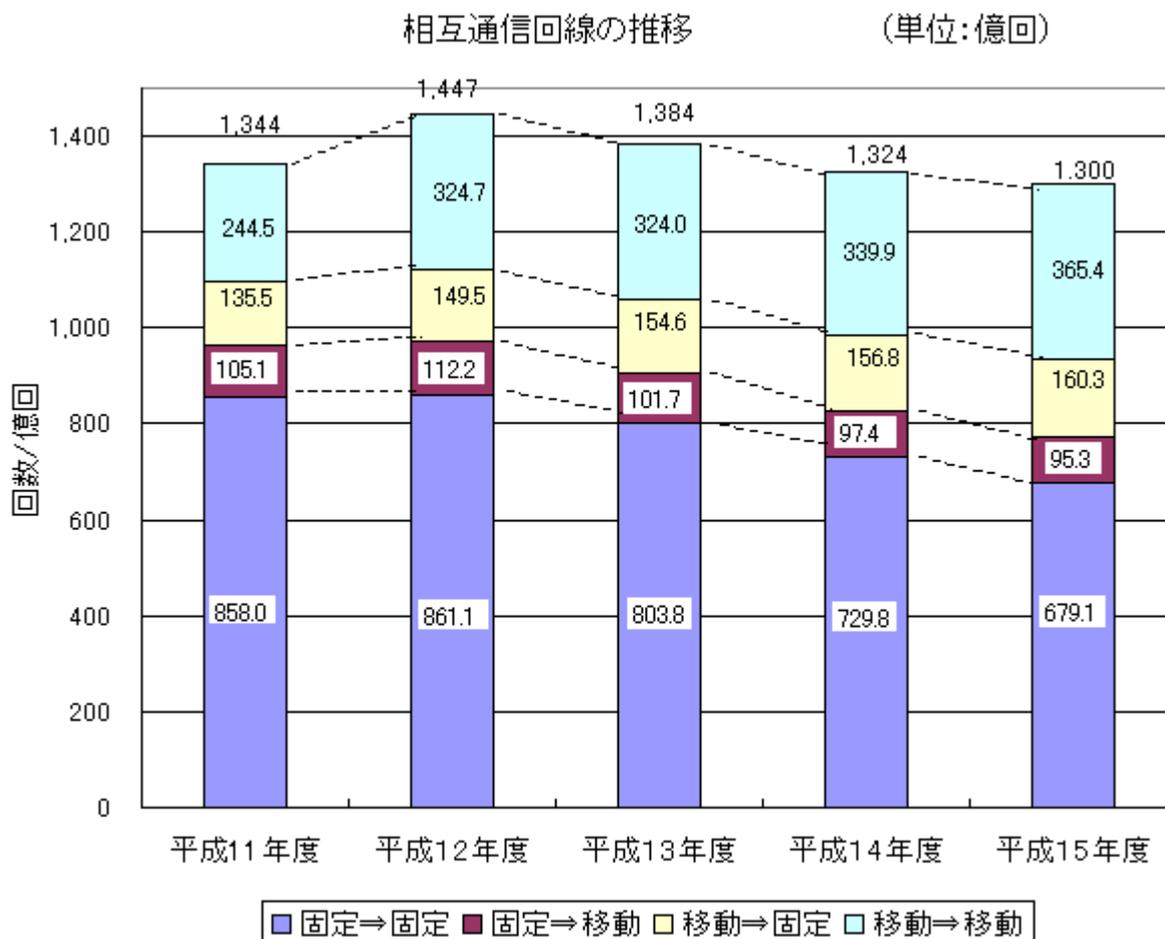
- (1) 契約数（平成15年度末）は、固定系（加入電話・ISDN）は減少傾向

が続いている（対前年度比0.9%減）が、携帯電話は依然として増加している（対前年度比7.7%増）。

- (2) 国内音声サービス全体のトラヒックは、総通信時間で9.6%の減。そのうち特に固定発固定着は17.5%の大幅減。電子メール（固定・携帯）やADSL等の普及によるものと推測される。
- (3) NTTグループ・NCC別のトラヒックについて、加入電話・ISDNでは、NTTのトラヒックが大幅に減少したため、シェアが通信回数64.1%、通信時間67.6%に減少した。携帯電話について、NTTドコモのシェアが通信回数62.6%、通信時間62.7%に減少した。

2 国内通信の通信回数

- ・ 総通信回数は1,300億回。対前年度比1.8%減、
- ・ 通信回数の内訳の構成比は、固定⇒固定は52.2%、固定⇒移動は7.3%、移動⇒固定は12.3%、移動⇒移動は28.1%となっている。
- ・ 総通信回数におけるシェアでは、移動発通信へのシフトが続いている。



(単位:億回) [単位:百万時間]					
区分	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
総通信回数	1,344	1,448	1,384	1,324	1,300

(対前年度比)	(+5.8%)	(+7.7%)	(▲4.4%)	(▲4.3%)	(▲1.8%)
総通信時間 (対前年度比)	[6,150] (+13.7%)	[7,026] (+14.3%)	[6,566] (▲6.5%)	[5,748] (▲12.5%)	[5,198] (▲9.6%)
固定⇒固定 〔全体比〕 (対前年度比)	858 〔63.9%〕	861.1 〔59.5%〕	803.8 〔58.1%〕	729.8 〔55.1%〕	679.1 〔52.2%〕 (▲2.2%)
固定⇒移動 〔全体比〕 (対前年度比)	105.1 〔7.8%〕	112.2 〔7.8%〕	101.7 〔7.3%〕	97.4 〔7.4%〕	95.3 〔7.3%〕 (▲2.2%)
移動⇒固定 〔全体比〕 (対前年度比)	135.5 〔10.1%〕	149.5 〔10.3%〕	154.6 〔11.2%〕	156.8 〔11.8%〕	160.3 〔12.3%〕 (+2.2%)
移動⇒移動 〔全体比〕 (対前年度比)	244.5 〔18.2%〕	324.7 〔22.4%〕	324 〔23.4%〕	339.9 〔25.7%〕	365.4 〔28.1%〕 (+7.5%)

なお、詳細については、http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/041222_4.html を参照して下さい。

欧州電気通信 の動き

ART、周波数取引市場を検討

【La Tribune,2005/01/19】

ART（電気通信規制機関）は通信用電波の取引を行なう市場の開設を検討している。市場が存在すれば、限定された資源である周波数の最適な割当が可能になる。ARTは、特に、WiMAX（電波到達距離が長い次世代無線LAN）のことを考えており、シャンソールART委員長は1月18日の賀詞交換会で「加入者系無線（WLL）の周波数市場は流通市場の設置に適した市場の好例で、そのための競売組織の設置を検討する」と述べた。ARTとしては、対象となる周波数の選択及び取引方法等に関し、政府に勧告するために調査を実施する意向である。

ART、ドルフィンの周波数を再割当

【Les Echos,2005/01/26】

ART（仏電気通信規制機関）は、会社清算となったドルフィン・テレコム（業務用携帯電話事業者）に割り当てられていた周波数を、段階的に再割当するこ

とを決めた。ARTとしては、ドルフィンが利用していた地域毎に再割当を行うとしており、これらの周波数 (410-430MHz) は、ナローバンド業務用携帯事業に利用可能である。

編集後記

先週の3日は節分でしたね。“豆まき”をする家庭もめっきり減っているようですが、豆でも、イナゴ豆(カロブ豆)という豆をご存知ですか？地中海沿岸からシリアが原産で、少し角張ったような形で、色や風味はココアに似ています。このイナゴ豆ですが、どの粒も約0.2グラムでほとんど同じ重さらしく、昔、金細工師が天秤の分銅にしていたそうです。宝石の重さを表す"カラット"という単位が、1カラット=0.2グラムなのはそのためだそうです。分銅がわりに豆が使われていたとはいえ、“豆まき”をあたかも“宝石”をまくがごとく、優雅な感性で豆まきをする方々は、今流行りの“セレブ”ですかね？

ところで、ARIBの部会の中に“鬼”が名字に入る委員の方がおられますが、昔からこれらの家庭では「鬼は内、福は内」と言うそうです。豆まきを行う際には「鬼は外、福は内」と掛け声をかけるのが普通だと思っていたのですが、変わった風習？と言ってもいいですかね。さらに成田山新勝寺では本尊が不動明王のため、掛け声は「福は内」だけで、併せて千葉名産の落花生もまくそうです。皆様の家庭ではどんな豆まきをしていますか。

(編集子：SUM)